

## 患者支援センター長 就任のご挨拶



この度、前任の臼井副院長の後を引き継ぎ、患者支援センター長を拝命いたしました樋口周久です。当センターと地域医療の架け橋とのために貢献したいと考えておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

産科および小児の医療界限では少子化のため、各診療所および病院は非常に苦しい状況になっており、当センターも例外ではありません。しかし、子供の数の減少や医療維持コスト増大などの理由により、地域の周産期・小児医療のレベルを下げるわけにはいきません。逆に少子化のために、今まで以上に一人一人の子供たちに対する医療・支援が必要となってくると思われます。このため、地域として周産期・小児医療をしっかりと維持する必要があり、当センターを含めた地域の診療所ならびに病院のご協力が必要となります。



患者支援センター長  
副院長  
樋口 周久

私自身は整形外科医ですので、子供の整形外科疾患を中心に診断治療をしておりましたが、今後は患者支援センター長として医療および支援全体を見渡すことを心掛け、地域の先生・看護師・保健師・薬剤師・ケースワーカーなどの、メディカルおよびコメディカルスタッフの方々と共に歩いていく所存です。ご指導とご鞭撻ならびにご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## 副院長 就任のご挨拶

この度、大阪母子医療センター副院長を拝命いたしました樋口周久と申します。小児の整形外科を専門としており、地域の医療機関から数多くの症例を紹介いただいておりますが、今後は当センターと地域全体の医療を見渡したお仕事をさせていただくこととなりました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 基本理念

母と子、そして家族が笑顔になれるよう、質の高い医療と研究を推進します。

## 基本方針

- 周産期・小児医療の基幹施設として高度で専門的な医療を提供します。
- 患者さんとの相互信頼の立場に立った医療を行います。
- 地域と連携して、母子保健を充実させます。
- 母子に関する疾病の原因解明や先進医療の開発研究を進めます。



腎・代謝科 主任部長

窪田 拓生

腎・代謝科の主任部長に着任しました窪田拓生です。腎・代謝科は新生児期から思春期までの腎臓疾患、カルシウム・リン代謝異常症・骨疾患、糖尿病等の診療を行っています。

地域の医療機関との連携を一層深め、患者さんご家族に最善の医療を提供できるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願いいたします。



救急・総合診療科 主任部長

旗智 武志

「救急・総合診療科」が誕生して1年が経過し、当該科を担当させていただくことになりました。

軽症であっても入院が必要な場合、肺炎や胃腸炎など一般的な疾患から診断が明確でない場合でも、重症度によらずご連絡いただければ幸いです。

地域に貢献できる診療科として成長していくため、お力添えのほどよろしくお願いいたします。



薬局長

井上 聡子

今年度より薬局長に就任いたしました井上聡子と申します。

母子医療や小児医療に関しては初心者ではありますが、地域との連携の重要性は、どの分野においても共通の課題と認識しております。

地域の先生方と共に、より良い医療を築いていける様に努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



看護部長

田中 はるみ

この度、看護部長を拝命いたしました、田中はるみと申します。私は平成元年に当センターに入職し、今年37年目でございます。

歴代看護部長の軌跡を礎に、より看護の質が向上するよう全力を尽くしてまいります。

さまざまな健康状態にある妊産褥婦・新生児・小児とそのご家族が、安全で安心できる看護を目指します。どうぞよろしくお願いいたします。

## 病院の建替えについて

病院の建替え工事等の施工者を定める入札手続きとして、2024年12月2日に公告を行いました。期日まで入札参加表明の事業者がいなかったため、入札不調となりました。

現在、建設事業者等へのヒアリングを行う等、当該結果も踏まえて建替えに向けて検討しているところです。

引き続き、南大阪地域の周産期・小児医療の基幹病院として高度でかつ幅広い医療を提供するため、本事業に取り組んでまいります。

『大阪府妊産婦こころネット』は大阪府からの委託事業として2024年度に全国で初めて開始されました。

本事業は、地域で安心して出産できる環境の整備をめざし、医療機関、市町村等の窓口として専門的な支援を行うとともに、妊産婦のメンタルヘルスケアに関わる医療機関、市町村、関係機関等と連携し、サポート体制のネットワーク構築を図ることを目的としています。

初年度でしたが、以下の活動を実施しました。次年度はこれらの充実を図る予定です。

◆全産婦人科医療機関・精神科医療機関対象の

アンケート調査の実施

◆地域診療体制の可視化・整備

◆精神科医師の登録並びに相談・コーディネート業務

◆ホームページ作成

◆ネットワーク会議の開催 (2024.7.18)

◆研修会 (2025.1.16)

◆事例検討会 (2025.1.25)



診療科名を変更しました

当センターでは、2025年4月より、以下の診療科名を変更いたしました。

なお、診療科名の変更に伴う、診療内容の変更などはありません。

ご理解とご協力のほどお願い申し上げます。

小児神経科 → 脳神経内科

小児循環器科 → 循環器内科

2025年4月より「頭蓋矯正ヘルメット外来」を開始しました。

脳神経外科ではこれまで「頭の形外来」として、赤ちゃんの頭のゆがみについて、病気との鑑別を行ったり、向き癖による重度のゆがみに対しては「頭蓋矯正ヘルメット療法(自費診療)」をご紹介してきました。

この度、ヘルメットの院内処方が可能となり、治療期間中の外来診察(約半年間)も含めて当センター内での治療が可能となりました。

ヘルメット療法の理想の開始時期は生後3~7か月ですので、お気軽にご相談下さい。

対 象

頭の形のゆがみ(左右のゆがみ、縦長/横長)が気になる赤ちゃん。 ※ヘルメット希望の場合は生後7か月頃まで。



外 来 日

木曜日:午後(第3木曜日以外)、完全予約制

受診方法

FAXで脳神経外科の初診予約をとってください  
医療機関からの紹介状がなくても受診可能です

費 用

初回診察:保険適用

ヘルメット療法(自費診療):55万円(税込)

初診予約票の診療科名が  
変わっております



受診希望 科 名	<input type="checkbox"/> 母性内科 <input type="checkbox"/> 脳神経内科 <input type="checkbox"/> 形成外科 <input type="checkbox"/> 整形外科 <input type="checkbox"/> 呼吸器・アレルギー科 <input type="checkbox"/> 子どものこころの診療科 <input type="checkbox"/> 循環器内科 <input type="checkbox"/> 産婦人科 <input type="checkbox"/> 消化器・内分泌科 <input type="checkbox"/> 小児外科 <input type="checkbox"/> 眼科 <input type="checkbox"/> 口腔外科 <input type="checkbox"/> 腎・代謝科 <input type="checkbox"/> 脳神経外科 <input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科 <input type="checkbox"/> 遺伝診療科 <input type="checkbox"/> 血液・腫瘍科 <input type="checkbox"/> 泌尿器科    ※産科の申込書は別になっております																				
	受診希望 医師名	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (    )																			
受診 希望日	<input type="checkbox"/> 1週間以内 <input type="checkbox"/> 1か月以内 <input type="checkbox"/> 4か月以内																				
	受診希望曜日 <table border="1"> <tr> <td></td> <td>月</td> <td>火</td> <td>水</td> <td>木</td> <td>金</td> </tr> <tr> <td>午前</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table>					月	火	水	木	金	午前	<input type="checkbox"/>	午後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>				
	月	火	水	木	金																
午前	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																
午後	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																
センター 受診歴	<input type="checkbox"/> 初回 <input type="checkbox"/> 受診歴あり(西暦 年 月 頃・科)																				

## 第16回室堂セミナーを開催しました。



当センターでは、定期的に府民公開講座を開催し、府民へ医療情報をわかりやすくお伝えしています。今回は、「親から子へ伝えたい思春期の性と健康づくり」をテーマに、プレコンセプションケア、イマドキの性教育、男性看護師から伝えたい性教育の3題の講演を行いました。

3月15日(土)開催日には、54名の方にご参加いただき、アンケートには「とてもわかりやすい講演で満足しました」など高評価を多くいただきました。

## AYAWECK2025イベント企画に参加しました

2025年3月8日～3月16日は、AYA世代の”がん”について想う1週間、AYAWECK2025でした。AYAWECK2025のテーマは「知ろう、一緒に。誰かが、誰かの勇気になる!」です。当センターは、今年も応援フラッグとイベント企画でAYAWECK2025に参加しました。

イベント企画では、「A世代がん患者への教育の現状」をテーマに神戸大学医学部保健学科副島亮史准教授、オンライン院内学級KAYOUプロジェクト代表西岡真由美様、高校時代に入院を経験した経験者の方にご講演いただきました。がん経験者とそのご家族、がん患者を支援する多くの方にご参加いただきました。

## 外国の患者さんへの対応

当センターを受診される外国の患者さんは、年々増加しています。原則としてボランティア通訳同席のうえで、口頭で入院案内等を行っていますが、患者さんに渡す「入院案内」パンフレットは日本語版のみで、なかなか病棟のルールなどを理解していただくのが困難な状況でした。

このたび、自動翻訳システムを利用し、入院案内パンフレット等の多言語化を実現しました。現在、8か国語(英語、ベトナム語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、アラビア語、ウルドゥ語)に対応しています。まだ、使用例は限られていますが、今後、課題を検証しつつ、外国の患者さんとのコミュニケーション促進の一助になれるよう取組みたいと考えています。

アラビア語による  
食事の説明



## ご提案・ご要望

数か月前から歩行困難となり、車イスを利用している娘の通院に自動車で来院しました。障がい者手帳等がないため、車イスゾーンに停車する場合、一度停車スペースに停めて受付で駐車券を発行する必要がありました。

車イス利用者であることが確認できたら、手帳がなくてもすぐに駐車できるようお願いしたいです。

## 回答

ご指摘をいただきまして、障がい者手帳等をお持ちでない場合も、車イスを利用されている場合は、身障者駐車スペースにて警備員が直接駐車許可証の発行を行うよう運用を変更いたしました。

## 交通のご案内



診療時間：平日 9時～17時30分  
予約受付時間：平日 9時～19時

地方独立行政法人 大阪府立病院機構  
大阪母子医療センター 患者支援センター  
〒594-1101 大阪府和泉市室堂町840  
【初診専用】 TEL：0725-56-9890 (直通)  
FAX：0725-56-5605  
【その他】 TEL：0725-55-3113 (直通)  
FAX：0725-56-7785  
【医師相談窓口】 E-mail：chiren@wch.opho.jp

医療対象者  
ホットライン  
(※24時間受付直通)

PICUホットライン  
0725-56-1070

小児がん・白血病  
ホットライン  
0725-57-7677

心疾患ホットライン  
0725-56-3833

この広報誌に関するご意見・ご要望はFAXにて患者支援センターにお寄せください。